

リニヤゲージカウンタ EC-101D

安全に関するご注意

商品のご使用にあたっては、記載の仕様・機能・使用上の注意に従ってご使用ください。それ以外でご使用になりますと安全性を損なうおそれがあります。

はじめに

本商品の性能を十分に発揮させ、長期にわたり良好な状態でご使用いただくために、ご使用前には本書をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。また、以下の注意点を確実にお守りください。

海外移転に関するご注意

本商品は「外国為替及び外国貿易法」の規制対象品です。製品や技術を海外移転する場合は、事前に弊社にご相談ください。

電磁両立性について

本商品は、EMC 指令および英国電磁両立性規制に適合していますが、この要求を超える電磁妨害を受けた場合は保証外となり、適切な対策が必要となります。

本書で使用されているマーク

汎用		取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
		取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。
特定		接地が必要であることを示します。

取り扱い上のご注意



カバーを外したり、分解したりしないでください。感電や、金属粉の混入によるショートで破損や火災の危険があります。

- 精密機器です。各部に衝撃を加えたり、無理な力をかけたりしないでください。
- 本商品は周囲温度 0℃～40℃、非結露で温度変化の少ない場所でご使用ください。
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 一切粉、切削油、ほこり、振動の多いところ
 - 直射日光のあたるところ
 - 高圧・大電流を扱う機器の周辺

保証

本商品は、十分な品質管理のもとで製造していますが、万一お買い上げから 1 年以内に弊社の製造、輸送などに起因する不具合が発生した場合には無償で修理させていただきます。お求めの販売店、または弊社営業の窓口にご相談ください。

1 概要

1.1 主な機能

本商品は、弊社リニヤゲージを接続して、計数値を表示するカウンタです。主に以下の機能があります。

- プリセット、ゼロセット、公差判定
- I/O コネクタで、PC や外部装置との通信が可能

1.2 接続できるリニヤゲージ

本商品に接続できるリニヤゲージとその特長は、以下のとおりです。

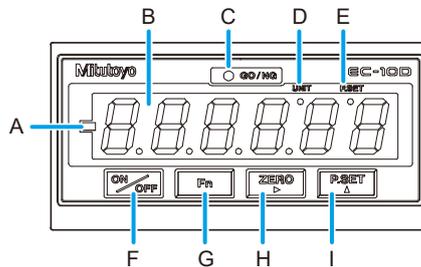
符号	接続できるリニヤゲージ	特長
EC-101D	LGD、LGS など (ID や SD も接続可能)	<ul style="list-style-type: none"> デジマチック出力タイプ ABS 機能付き (マスター合わせ不要)

Tips 以下の場合にはカウンタに適切な計数値が表示されません。

- 接続するゲージが 6 桁 (整数桁+小数桁) を超える計数値のとき
- 分解能 (最小表示量) が 0.1 mm 以上、1 mm 未満のとき

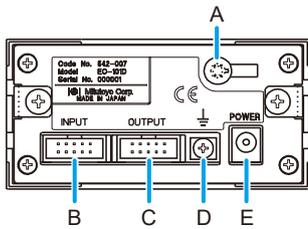
1.3 各部の名称と機能

■ 本体前面



記号	名称	説明
A	符号インジケータ	計数値や設定値の符号を表示します。最大桁まで表示している、かつ負 (-) の場合に、インジケータが点灯します。
B	表示部	接続されたリニヤゲージの計数値などを表示します。
C	公差判定インジケータ	リニヤゲージの公差判定結果を色別で表示します。
D	UNIT インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> I/O コネクタ接続時、HOLD 信号入力中に点滅します。 パラメータで E 単位を選択したときに点灯します。
E	P.SET インジケータ	プリセット値の設定時に点灯します。
F	[ON/OFF] キー	表示のオン/オフをします。詳細は、  「4.5 表示のオン/オフ」(4 ページ)
G	[Fn] キー	公差またはプリセットを設定する設定モードに切り替えます。 Tips パラメータ設定時は、パラメータ番号を進めます。
H	[ZERO] キー	表示部の現在値をゼロにします。 Tips <ul style="list-style-type: none"> パラメータ設定時は、設定値を進めます。 公差・プリセット・任意定数の設定時は、選択桁の数値を増やします。
I	[P.SET] キー	<ul style="list-style-type: none"> プリセット値を表示します。 エラーをキャンセル (解除) します。 Tips <ul style="list-style-type: none"> パラメータ設定時は、設定値を進めます。 公差・プリセット・任意定数の設定時は、選択桁の数値を増やします。

■ 本体背面



記号	名称	説明
A	ケーブルクランプ	電源ケーブルを固定します。
B	リニヤゲージ入力コネクタ	リニヤゲージを接続します。
C	OUTPUT コネクタ (I/O コネクタ)	I/O ケーブルを接続します。
D	アース端子	アース線を接続します。
E	DC ジャック	AC アダプタを接続します。

2 セットアップ

2.1 開梱

初めて箱を開けるときは、以下の構成が入っていることを確認してください。

品名	個数
リニヤゲージカウンタ (本商品)	1
ワッシャ (平座金丸呼び 4)	6
ゴム足	4
AC アダプタ (100 V ~ 240 V) 06AGC585JA	1
取扱説明書 (本書)	1
保証書	1

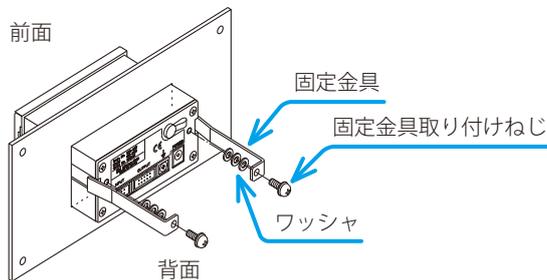
2.2 パネルへの取り付け

■ 取り付けパネル穴の寸法

横幅 (mm)	縦幅 (mm)	パネル厚 (mm)
92.0 ~ 92.8	45.0 ~ 45.8	1.0 ~ 3.2

■ パネルへの取り付け手順

- 1 固定金具取り付けねじ (下図参照) を緩め、固定金具を外す
- 2 パネル前面からカウンタ本体を差し込む
- 3 手順 1 で取り外した固定金具を、パネル背面からカウンタに取り付けて固定する



Tips 次の表のとおり、パネルの厚さによって、ワッシャの使用枚数を調整してください。

パネル厚 (mm)	1.0 ~ 1.3	1.4 ~ 1.7	1.8 ~ 2.5	2.5 ~ 3.2
ワッシャ枚数	0	1	2	3

2.3 ゴム足の取り付け

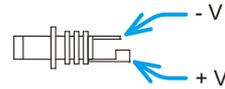
机上に設置する場合、滑り止めと防振のために、付属のゴム足 (4 個) をカウンタ底面の四隅に貼り付けてください。

Tips ゴム足を貼り付けたまま、パネルに組み込むことはできません。

2.4 接続

■ 電源

付属の AC アダプタと AC コードをご使用ください。付属の AC アダプタを使用しない場合、直流電源 (電圧 9 V ~ 12 V、出力電流 1 A 以上) をカウンタ 1 台につき 1 つご準備ください。電源ケーブルは、オプションの DC プラグの端子 (下図参照) にハンダ付けしてください。



注記 他の大電力機器の電源と共有しないでください。

Tips 市販の電源を使用する場合、電源配線の長さを 30 m 以内としてください。また、屋外配線は避けてください。

■ 外部機器接続ケーブル

外部機器を接続する場合、I/O コネクタ用のケーブルは、お客さまにてご用意ください。

Tips I/O ケーブルの詳細は、目録「5 外部入出力機能」(5 ページ)

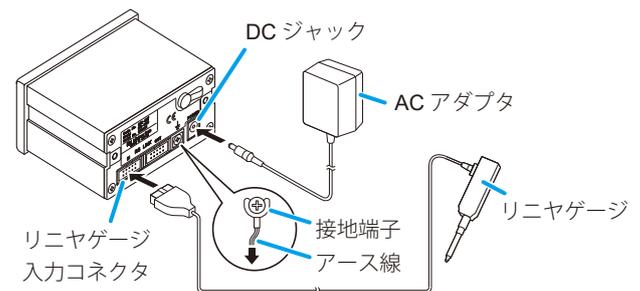
■ 接続手順

- 注記**
- ・ 接続作業時は AC アダプタを最後に接続してください。
 - ・ 電源ケーブルとリニヤゲージのケーブルを他の電力線と同じ配管内に配線しないでください。
 - ・ 電源ケーブルおよび外部機器接続ケーブルは、お客様が使用されている設備機器に、結束バンドや配線ホルダなどを使用して固定してください。



接地は必ず行ってください。接地しない場合、ノイズの影響を受けやすくなります。

下図のとおり接続を行ってください。



2.5 動作確認

接続が正しく行われているか、以下の手順で確認してください。

1 電源を接続する

- » 計数スタンバイ状態になる



2 [P.SET] を押す

- » 計数表示になる



3 表示部に計数値が表示されていることを確認する

4 リニヤゲージの測定子を上下させて、カウンタの計数が変化することを確認する

3 パラメータ設定

パラメータを設定することによって、使用するリニヤゲージの設定、カウンタの表示や外部出力などを指定します。測定を開始する前にパラメータを設定してください。

3.1 パラメータの設定手順

パラメータは、パラメータモードで設定します。ここでは例として、計数方向（リニヤゲージのスピンドルが押しこまれた場合の方向）をマイナス（-）に設定する操作手順を説明します。

1 電源を接続する

» 計数スタンバイ状態になる



2 [Fn] を押しながら [P.SET] を押す

» パラメータモードに移行（パラメータ番号 00 の設定値が点滅）



3 [P.SET] を 1 回押して、設定値を 1（パラメータ設定）に変更する

» パラメータを変更できる状態になる（設定値は点滅したまま）



Tips 設定値が 0 の場合、パラメータを参照できますが、変更できません。

4 [Fn] を繰り返し押して、パラメータ番号を 11 まで進める

» パラメータ番号 11 の設定値が点滅（パラメータ番号 11 は計数方向の設定）



5 [P.SET] を繰り返し押して、設定値を 1（-方向）に変更する

» 設定値が 1 にセット（計数方向が - 方向に設定される）



6 [Fn] を押しながら [P.SET] を押す

» 計数スタンバイ状態に戻る



3.2 基本パラメータ

測定に関する基本的なパラメータです。測定を開始する前に、必ず設定してください。

Tips 間違った設定をすると、正しい測定結果を得られない場合があります。

[パラメータ番号] /設定項目	説明 (太字は初期値を示します)
[00] パラメータモード	パラメータを参照または変更する場合に使用します。 0: パラメータ参照 1: パラメータ設定 2: 任意定数設定 *1
[11] 計数方向	リニヤゲージのスピンドルが押しこまれた場合に、数字が増加するか減少するかを設定します。 0: +方向 1: -方向
[12] 計数方法	接続するリニヤゲージに合わせてカウンタの計数方法を設定します。*2 0: INC 1: ABS 2: マルチユニット

[パラメータ番号] /設定項目	説明 (太字は初期値を示します)
[15] 単位系選択 *3	表示の単位を mm または E 単位に設定できます。 E=1/25.4 mm です。設定変更後、パラメータを初期化しても初期値に戻りません。 0: mm 1: E 5/10 万読み *4 2: E 1/1 万読み *4 3: mm (E ゲージ 1/1 万読み接続時)

- *1 任意定数値の設定は、パラメータ番号 16 を 3 に設定したときのみ有効です。詳細は、 「4.6 任意定数値の設定」(4 ページ)
- *2 INC 機種のリニヤゲージを接続する場合は、「0: INC」を選択してください。ABS 機種の場合は、「0: INC」と「1: ABS」のどちらでも選択できます。「0: INC」選択時:
カウンタ起動時にリニヤゲージの計数値を表示します。表示をリセットする場合は、ゼロセットなどを行ってください。
「1: ABS」選択時:
カウンタ起動時にリニヤゲージの原点 (0 点) を記憶し、原点からの距離を計数表示します。カウンタを再起動しても、記憶した原点を保持します。
マルチユニットを接続する場合は、設定値を 2 にしてください。また、マルチユニットの SELECT スイッチを「EX」にしないでください。
- *3 設定を変更すると、それまでに設定していたプリセット値と公差値がクリアされます。
- *4 E タイプゲージ接続時、カウンタの最小表示量はゲージの目量となります。

3.3 応用パラメータ

カウンタの表示、機能、または外部出力などに関するパラメータです。用途に応じて設定してください。

[パラメータ番号] /設定項目	説明 (太字は初期値を示します)
[10] パラメータ初期化 *1	設定値を 1 にすると、単位以外のすべてのパラメータ設定値を初期値に戻すことができます。この設定は一度有効にすると、パラメータが初期化されるため、設定値は 0 (初期化しない) に戻ります。 0: 初期化しない 1: 初期化する
[14] 起動時の表示	起動時に、計数スタンバイ状態または計数表示のどちらを表示するか選択します。 0: [-----] 表示 1: 0.000
[16] 定数演算	計数値を規定倍または任意倍するかどうかを設定します。設定した定数を計数値にかけたものが、測定結果として表示されます。任意の定数値の設定に関する詳細は、 「4.6 任意定数値の設定」(4 ページ) 0: 演算しない 1: 2 倍 2: 10 倍 3: 任意
[17] 最小桁非表示	最小桁を非表示にします。ただし、プリンタへの印字は、最小桁まで行います。 0: 全桁表示 1: 最小桁非表示
[20] 公差判定/デジマチック出力切り替え	公差判定結果出力とデジマチック出力を切り替えます。 0: 公差判定結果出力 1: デジマチック出力
[29] デジマチック入力 WAIT*2	デジマチック入力信号に対する待機時間を設定します。デジマチック機器の入力をカウンタ側で読み取れなかった場合には変更します。 0: WAIT 無し 1: 200 ms WAIT 2: 400 ms WAIT
[35] キープロテクト	誤操作防止のため、キー操作を無効化できます。 0: キー操作有効 1: キー操作無効

- *1 設定を変更すると、それまでに設定していたプリセット値と公差値がクリアされます。
- *2 表示速度の変更ができます。マルチユニット接続時は、設定値を 1 にしてください。

4 基本操作

4.1 ゼロセット

リニヤゲージ測定範囲の任意の位置で、カウンタの現在値を 0 にセットすることができます。操作手順を説明します。

1 計数値が表示されている状態で、[ZERO] を押す

- » 計数値が 0 になる

Tips プリセット機能を使用して、カウンタの現在値を 0 にすることもできます。詳細は、 「4.2 プリセット」(4 ページ)

4.2 プリセット

リニヤゲージ測定範囲の任意の位置で、カウンタの現在値を任意の数値にセットすることができます。

- Tips**
- 工場出荷時、プリセット値は 0 に設定されています。その場合、本機能を使用しても、カウンタの現在値を 0 にセットすることができます。
 - プリセット値を変更する手順の詳細は、 「4.4 プリセット値および公差値の設定」(4 ページ)
 - ゲージタイプの設定が「ABS」の場合、有効プリセット/ゼロセットの回数は、100 万回です。

操作手順を説明します。

1 計数値が表示されている状態で、[P.SET] を押す

- » 現在値が、あらかじめ設定されたプリセット値に変更

4.3 公差判定

以下のように 3 段公差判定をします。

Tips I/O 出力についての詳細は、 「5 外部入出力機能」(5 ページ)

判定条件	公差判定インジケータ	I/O 出力 (ピン番号)
測定結果 < 下限値	橙点灯	-NG (4)
下限値 ≤ 測定結果 ≤ 上限値	緑点灯	GO (3)
上限値 < 測定結果	赤点灯	+NG (2)

4.4 プリセット値および公差値の設定

設定モードで、プリセット値、公差値の順に設定します。操作手順を説明します。

1 プリセット値を設定する

1 [Fn] を押して、設定モードに切り替える

- » P.SET インジケータが点灯
- » 前回設定したプリセット値が表示 (右記は前回の値が 0 の場合)



2 [ZERO] を押す

- » 入力桁が右に移動 (選択中の桁が点滅)



3 [P.SET] を押す

- » プリセット値が変更

Tips 最上位桁は、土の符号も設定します。プリセット値を負 (-) の値に設定したい場合は、符号インジケータが点灯するまで、[P.SET] を繰り返し押してください。

4 希望するプリセット値になるまで、手順 2 と 3 を繰り返す

5 [Fn] を押す

- » プリセット値が確定し、前回設定した公差の下限値が表示 (右記は前回の値が -1.000 の場合)
- » 公差判定インジケータが橙色に点灯



2 公差値を設定する

1 [ZERO] を押す

- » 入力桁が右に移動 (選択中の桁が点滅)



2 [P.SET] を押す

- » 公差値が変更

Tips 最上位桁は、土の符号も設定します。公差値を負 (-) の値に設定したい場合は、符号インジケータが点灯するまで、[P.SET] を繰り返し押してください。

3 希望する公差値になるまで、手順 1 と 2 を繰り返す

4 [Fn] を押す

- » 公差の下限値が確定し、前回設定した公差の上限値が表示 (右記は前回の値が 2.000 の場合)
- » 公差判定インジケータが赤色に点灯



5 手順 1 ~ 3 と同様の操作で、公差の上限値を設定する

6 [Fn] を押す

- » 公差の上限値が確定し、計数表示に戻る

Tips 公差の下限値 ≤ 上限値以外の設定ではエラーとなります。[P.SET] を押して公差の下限値から入力しなおしてください。

4.5 表示のオン/オフ

カウンタの [ON/OFF] を押して、表示のオン/オフを行います。

Tips 本操作は、表示のオン/オフを行うものです。リニヤゲージや I/O ケーブルを接続する際は、AC アダプタを外してください。

操作手順を説明します。

1 計数表示の状態、[ON/OFF] を押す

- » カウンタの表示がオフ



2 再度 [ON/OFF] を押す

- » カウンタの表示がオン



Tips ゲージタイプによって、カウンタの表示が異なります。ABS の場合、表示をオフしたときの値が表示されます。INC の場合、ID などの現在値が表示されます。

4.6 任意定数値の設定

カウンタ値に任意の倍率を設定できます。この機能を使用した場合、精度は保証対象外になります。

- Tips**
- あらかじめ、パラメータ番号 16 を 3 (任意) に設定してください。
 - 任意定数を設定すると小数点が点滅します。

任意の倍率を設定する操作手順を説明します。

1 [Fn] を押しながら [P.SET] を押す

- » パラメータモードに移行 (パラメータ番号 00 の設定値が点滅)



2 [P.SET] を 2 回押して、設定値を 2 にする

- » 右記が表示



3 [Fn] を押す

- » 前回設定した倍率が表示 (右記は前回の値が 1.0000 の場合)



4 [ZERO] を押す

- » 入力桁が右に移動（選択中の桁が点滅）



5 [P.SET] を押す

- » 倍率が変更



6 希望する公差値になるまで、手順 4 と 5 を繰り返す

Tips 設定範囲は± 9.9999 です。

7 [Fn] を押しながら [P.SET] を押す

- » 計数表示に戻る

5 外部入出力機能

本商品には、外部機器とデータの通信を行うための I/O コネクタがあります。外部出力には、公差判定結果を出力する「公差判定出力モード」とデジマチック機器にデータを出力する「デジマチック出力モード」があります。また、外部入力により、プリセットの実行や計数値の HOLD が可能です。

5.1 接続

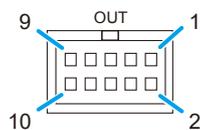
■ 適合プラグとケーブル

適合プラグ：

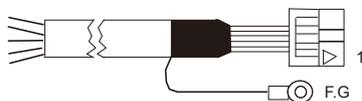
- MIL タイプコネクタ FAS-10-17 (山一)
- MIL タイプコネクタ XG4M-1030-T (オムロン)

ケーブル：シールド線を使用し、長さは 3 m 以内としてください。

■ ピンアサイン



- Tips**
- 外部入力は、入力電圧が「L」のときに有効です（外部入力は負論理）。
 - 下表の I/O は Input/Output の頭文字を指しています。「I」の場合は入力回路を、「O」の場合は出力回路を参照ください。
 - デジマチック出力モード時は各ピンの機能が異なります。出力モードを設定後、ケーブルを接続してください。
 - I/O ケーブル（オプション）の片側はバラ線です。お客様にて加工をお願いします。ケーブルの F.G 線（圧着端子付き、緑色）は、本体のアース端子に接続してください。



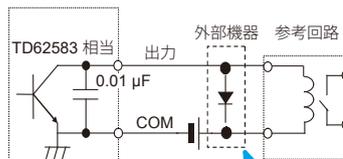
● 公差判定出力モード

ピン番号	I/O	名称	機能	オプション I/O ケーブル色
1	—	COM	内部で GND に接続	薄茶・黒
2	O	+NG	公差判定結果出力	薄茶・赤
3	O	GO	・ 該当出力端子：「L」	黄・黒
4	O	-NG	・ エラー時出力：+NG、-NG とともに「L」	黄・赤
5	I	HOLD	HOLD 入力（エラーキャンセル）	若草・黒
6	I	P.SET	プリセット入力	若草・赤
—	—	—	上記以外は未接続のこと	

■ 出力回路

出力が「L」のとき、トランジスタが ON（オープンコレクタ）します。

カウンタ



出力耐圧：Max. 24 V
出力電流：Max. 20 mA
出力飽和電圧：Max. 0.7 V

サージ吸収ダイオード
60 V 100 mA 以上

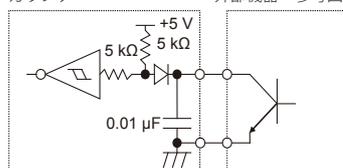
注記

- リレー使用時は、サージ吸収ダイオードや保護回路を組み込んでください。保護がない場合、カウンタ内部の IC が壊れる恐れがあります。
- 公差判定結果出力時の出力電流は、Max. 20 mA です。

■ 入力回路

入力電圧が「L」のとき、入力が有効となります。

カウンタ



入力電流：Max. 1 mA
入力電圧：H=4 ~ 24 V
L=Max. 1 V

オープンコレクタ出力
またはリレー出力等
使用してください。

5.2 デジマチック出力機能

■ デジマチックミニプロセッサによる印刷

デジマチックミニプロセッサ（DP-1VR）と接続することで、測定データを紙に印刷できます。カウンタの OUTPUT コネクタ（I/O コネクタ）と、DP-1VR とをオプションの接続ケーブル（RS リンク/デジマチック）で接続してください。

- Tips** 印刷可能な桁数は 6 桁です。カウンタの表示がオーバーフローした場合、正しい値が印刷されません。オーバーフローした場合は、「F0.0005」のように最上位桁が「F」と表示されます。プリセット値の見直しなどを行い、最上位桁が正常に表示された状態で出力してください。

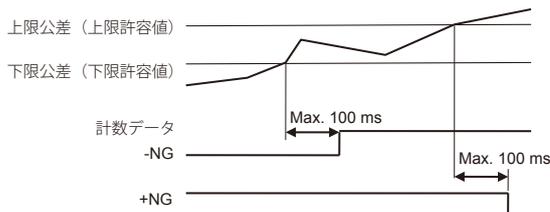
■ USB インプットツールによるデータ出力

USB インプットツールと接続することで、測定データを PC に出力できます。

- Tips** 詳細は、USB インプットツールの取扱説明書をご参照ください。

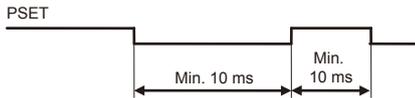
5.3 タイミングチャート

● 公差判定結果出力

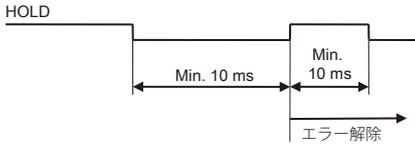


- Tips** 計数データに対して、公差判定結果が出力されるまでの時間は、接続機器によって異なります。上記 Max. 100 ms はリニヤゲージ LGD を接続した場合の時間です。

● プリセット



● HOLD



6 トラブルシューティング

6.1 トラブルシューティング

動作がおかしい場合、以下のトラブルの原因と対処方法を参照してください。

原因	対処
症状 1: 計数値がおかしい (計数しない)	
パラメータがリニヤゲージなどの種類に対して適切ではない	適切なパラメータを設定してください。詳細は、 目録「3.2 基本パラメータ」 (3 ページ)
HOLD 信号 (UNIT 点滅) が入力されている	外部入力を確認してください。
定数演算機能が設定されている	定数演算機能を解除 (パラメータ番号 16 を 0 に設定) してください。
症状 2: ゼロセットできない	
プリセット値が 0 以外になっている	プリセット値を 0 に設定してください。詳細は、 目録「4.1 ゼロセット」 (4 ページ)
症状 3: 勝手にゼロセットする	
瞬断状態 (電源電圧が瞬間的に低下) になっている	電源を見直してください。エラーの解除方法については、エラーコード一覧の [-----] をご参照ください。 目録「6.2 エラーコード一覧」 (6 ページ)
症状 4: パラメータの変更ができない	
パラメータモードが「パラメータ設定」(設定値 1) に設定されていない	パラメータ番号 00 を 1 に設定してください。詳細は、 目録「3.1 パラメータの設定手順」 (3 ページ)

6.2 エラーコード一覧

表示	原因	対処／エラー解除方法
Err 10	電源電圧異常	既定の電源に接続してください 自動解除
[-----]	電源立ち上げ時の計数スタンバイ状態、または電源瞬断	電源瞬断のときは電源を見直してください <ul style="list-style-type: none"> • [P.SET] を押す • 外部 HOLD 信号入力
Err 30	計数値が 8 桁以上	プリセット値を変更してください <ul style="list-style-type: none"> • [P.SET] を押す • 外部 HOLD 信号入力
Err 40	リニヤゲージの異常またはオーバースピード	<ul style="list-style-type: none"> • リニヤゲージの接続を確認してください • 測定条件を見直してください • [P.SET] を押す • 外部 HOLD 信号入力

表示	原因	対処／エラー解除方法
F****	計数値が 6 桁以上	計数値を 6 桁以内に返してください
Err 90	公差設定エラー	公差値を再入力してください [P.SET] を押す
Err 95	キープロテクト	キープロテクトパラメータを解除 (パラメータ番号 35 を 0 に設定) してください 自動解除

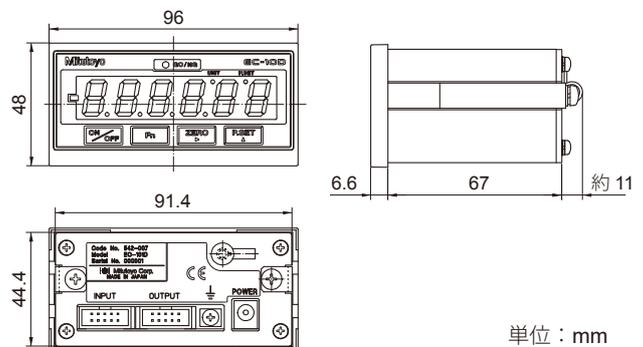
- Tips**
- 公差判定出力時 (パラメータ番号 20 の設定値が 0 のとき)、エラーが発生すると、2 番ピン (+NG) と 4 番ピン (-NG) が同時に「L」となります。
 - パラメータ設定やプリセット値・公差設定時にエラーが発生した場合、計数状態に戻ってからエラーを表示します。ただし外部出力には、すぐに出力します。
 - 外部からの PSET 信号でもエラーの解除ができます。
 - エラーを解除するとき、全小数点が約 8 秒間点滅します。

7 仕様

■ 基本仕様

コード No.	542-007
符号	EC-101D
表示軸数	1 軸
表示	負 (-) 記号および数字 6 桁 (緑色 LED)
最小表示量 (表示可能範囲)	ゲージによる自動設定 0.01 (± 9999.99) mm 0.001 (± 999.999) mm
電源電圧	DC+9 V ~ 12 V
消費電力	最大 4.8 W (最大 400 mA)
使用温度 (湿度) 範囲	0°C ~ 40°C (20% RH ~ 80% RH、非結露)
保存温度 (湿度) 範囲	-10°C ~ 50°C (20% RH ~ 80% RH、非結露)
外観寸法	96 (W) × 48 (H) × 85 (D) mm
質量	約 220 g
CE マーキング / UKCA マーキング	EMC 指令 / 電磁両立性規制: EN IEC 61326-1 Immunity test requirement: Clause 6.2 Table 2 Emission limit: Class B RoHS 指令 / 電気電子機器における特定有害物質の制限規制: EN IEC 63000
インターフェイス	I/O、デジマチック出力

■ 外観寸法図



■ オプション

パーツ No.	品名
936937	接続ケーブル (RS リンク / デジマチック) (1 m)
965014	接続ケーブル (RS リンク / デジマチック) (2 m)
214938	DC プラグ (MP-121M)
21HZA222	I/O ケーブル (2 m)